

これだけは知っておこう！

ケータイ・インターネット ～ルール編～



ケータイを使う ときの10か条

1. 使いすぎない
2. 使う場所を守る
3. 使う時間を守る
4. 相手のことを考える
5. カメラの使い方に注意
6. メールの使い方に注意
7. 知らないメールに注意
8. 「ながら」使用をしない
9. ネットトラブルに注意
10. 個人情報に注意

保護者の皆様へ：お子様と一緒に読んでください

監修：三重県消費生活対策審議会消費者教育研究部会

～あなたの使い方は大丈夫？～

(使ってはいけない場所や場合は□にチェックをしよう)

1. 使いすぎない

便利で気軽に使えるケータイですが、原則、使えば使うほど料金も時間もかかってしまいます。料金を支払ってくれるおうちの人に迷惑をかけないようにしましょう。

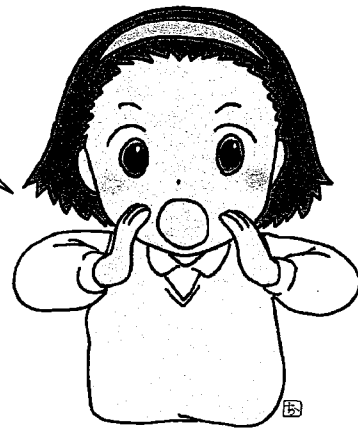
※ 電話の通話料、メールの情報料、インターネットの情報料、音楽ダウンロードの情報料+通信料

2. 使う場所を守る

※ こんなところで使っていませんか！

- 電車やバスの中
- 飛行機の中
- 病院の中

チェック
してみてください！



3. 使う時間を守る

※ こんな時に使っていませんか！

- 深夜や早朝
- 食事中や勉強中

4. 相手のことを考える

声や文字だけだと、表情が見えないので、気持ちが伝わりにくいことがあります。言葉づかいや書き方を間違えると、相手を不快にさせたり、悪口に聞こえることがあるので気をつけましょう。

5. カメラの使い方に注意

※ こんなものを撮っていませんか！

- 買っていない本や雑誌の記事
- 美術館や博物館の展示物
- 了解なしの人の写真

6. メールの使い方に注意

※ そのメールは、あなたがもらってもうれしいメールかな！

- 自分がもらって嫌なメールの転送
- 嫌がらせメール

7. 知らないメールに注意

迷惑メールや架空請求メールをはじめ、ケータイには危険な場合があります。絶対に「クリックしない」、「つながらない」、「返事を出さない」を守りましょう。

- 迷惑メールやチェーンメールに返信

8. 「ながら」使用をしない

ケータイの「ながら」使用は、話やメールの内容に気をとられて電車のホームから線路に落ちたり、他人にぶつかってけがをさせたりと、事故につながる危険があります。

※ こんなこと、してませんか！

- 自転車にのり「ながら」
- 歩き「ながら」

9. ネットトラブルに注意

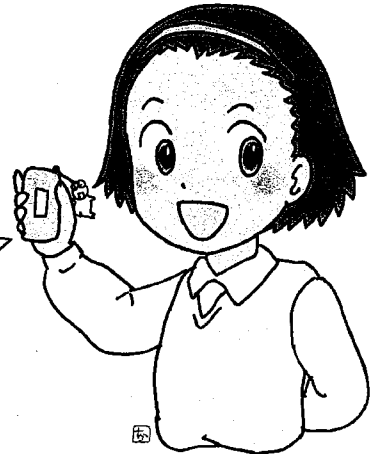
※ いじめのサイトなどにアクセスしていないかな！

- ネットでのいじめに加わる
- よく考えずに学校裏サイトやブログに書き込む

10. 個人情報に注意

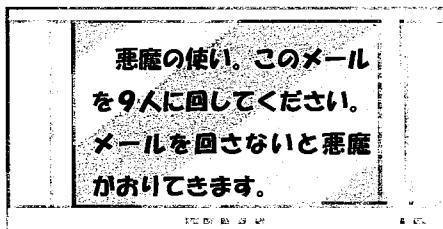
- 知らない人に自分のことを教える

みんな、納得できたかな。これ、全部やっちゃいけないことなんだよ！ だから、ケータイを持つことになったら、ルールを守ることができるようになろうね。



メールの復習問題

下のようなメールが来たらどうしますか？その理由を考えてみよう



こたえ

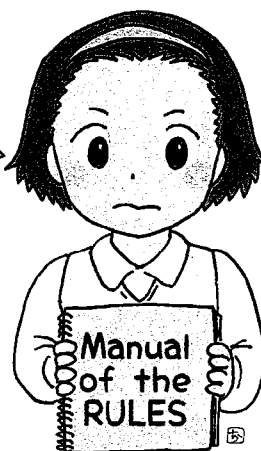
★ クイズ(答えはトラブル編を見てね！)
電車の中ではケータイで話をしていいのかな？

我が家のルールを決めよう！～□にチェックしましょう～

1. 時間のルール

- 家では大人のいる場所で使う（他の部屋には持っていかない）
- 1日の利用は_____分まで
- 夜_____時を過ぎたら利用しない
- 食事中は使わない
- お風呂に持ち込まない
- 充電器はリビングに置く

みんな、チェックはできたかな？
しっかり守って、正しいケータイの使い方しようね！



2. メールやいとのルール

- 自分の個人情報を書かない
- 悪口は書き込まない
- 迷惑メールに返信しない
- チェーンメールを転送しない
- 知らない人からメールが来たら保護者に知らせる

3. 料金のルール

- 明細書が来たら、毎月料金を確認する
- 料金が_____円を超えた分はおこづかいで払う
- 料金が_____円を超えた次の月はケータイを使えない
- 着メロ、音楽、ゲーム等は勝手に会員登録やダウンロードをしない

(保護者と相談して決める)

年 月 日 子どものサイン

保護者のサイン

ケータイとインターネットに関連する用語解説

ダウンロード

インターネットを通じて、ケータイやパソコンにデータを取り込むこと。

ブログ

日記的なウェブサイトのことで、簡単に文章を書き込み、日々更新できる。

パケット

「小包」の意味。情報を小さな単位(パケット)に分割して送受信する方法。

ブログ

主にケータイ電話で利用されている、自分のプロフィールのページを作成できるサービスのこと。または、そのようなサービスを提供しているサイト。

ハンドルネーム

インターネット上で使用されるニックネーム。

ないすまし

メールやブログで、大人の人が子どものふりをしたり、男性や女性が異性のふりをすること。

ウェブサイト

インターネット上で、ひとまとまりにした情報を公開している場所。

学校裏サイト(学校非公式サイト)

公式な学校のホームページとは別に、特定の人々が特定の学校に関する情報を交換するために設置した掲示板サイト。学校の先生や生徒のうわさ話や誹謗・中傷などが書き込まれ、いじめの原因となることもある。

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)

友人・知人間のコミュニケーションを円滑にしたり、趣味、居住地域、出身校などのつながりを通じて多くの人とつながる場を提供する、会員制のサービスのこと。



★ いろんな用語があります。覚えておかないと使いまがてしまったり、困ることもあるので、調べておきましょう。

～ケータイについての、学校・家庭などでの取組～

（学校や教育委員会の取組）

★すべての小・中学校で 原則として、持込禁止にしています。

現在、ケータイは、すべての小・中学校では原則として持込禁止、高等学校ではそれぞれの学校でルールを決めています。学校は、本来子どもたちが学習する場所であり、ケータイによって学習に集中できなくなるなど、授業等の妨げになることがあってはなりません。

ただし、保護者の申し出等により連絡用として必要が認められる場合等は持込みが認められます。

1、基本的な考え方

特別な事情がない限り学校にはケータイを持ち込む必要はないと考えています。

2、県教育委員会の取組

学校の指導を支援するため市町教育委員会と連携し、保護者への啓発活動を行っています。

3、学校の取組

ケータイを学校に持ち込まないように指導します。また、保護者からの申し出等があり、持込みが必要と判断される場合は、校長の判断により扱い方を明確にして持ち込むことを、全教職員の共通認識のもとで徹底しています。

（家庭での取組）

★子どもと保護者に認識の違いがあるので ルールづくりが必要です

子どもにケータイを持たせる場合は、ルールづくりを行うだけでなく、子どものケータイの利用状況を保護者がしっかり把握することが必要です。

1、基本的な考え方

ケータイを子どもに持たせることは保護者の責任であり、持たせる場合はルールをつくり、利用状況をしっかり把握することが必要と考えています。

2、県教育委員会や学校との連携

家庭でのルールづくりが徹底するよう関係機関と連携をはかっていきます。

3、保護者の管理

ケータイを子どもに持たせる場合は、保護者の管理のもとで、家庭でルールづくりを行うよう指導してください。

学校でもさまざまな取組があるので、家庭でも子どものケータイの使用に関するルールをつくり、使いすぎなどの対策をしましょう。